



ケース 10 戸田市政策研究所

議員：調査研究の委託費用で年間 8000 万円程度使っている。その予算で、本市らしいシンクタンクを設置し、地方分権時代の自治体間競争を勝ち抜いていくべきである。(平成 18 年 9 月 定例会一般質問)

こたえ

総合政策部長：あるべき姿から戦略を立てるシンクタンクの設置について、組織改正の中で検討する。

そして



自立した都市経営を行い、都市間競争に勝つためには、政策形成力の向上が不可欠な要素になることから、平成 20 年度の組織改正において、戸田市政策研究所を開設いたしました。

《研究所の成果の行方》

研究所の研究成果には、市長への提言、判断を経て、実際に担当課で実施されるものも多く生まれています。

例：シティセールスに関する研究から実施までの流れ

1. 政策研究所にて、基礎研究を実施
2. 「シティセールス戦略」を策定
3. 市長への提言と、市長による実施の判断
4. シティセールス戦略の実施（各担当課）
 - ・情報発信力強化プロジェクト（SNS 等）
 - ・フィルムコミッション設立プロジェクト
 - ・都市イメージ強化プロジェクト など

シティセールス戦略：

<http://www.city.toda.saitama.jp/6/5291.html>

●フィルムコミッションロケ地
(彩湖・道満グリーンパーク)



●ツイッターやフェイスブック等 SNS を利用した情報発信。



●地域資源を活かした
都市イメージ発信



あれから〇年！ あの質問はどうなった？

一般質問も、質問して、それきりとなるわけではありません。担当部局で慎重に調査・研究し、実現に至らなかったもの、成果が早く出てくるもの、10年・20年後に大輪の花を咲かせるものなど……。



議会運営委員会

大分県佐伯市／大分県大分市

『議会モニター活動』 の充実に向けて

佐伯市議会では、本市と同様に「議会モニター制度」を実施しておりますが、本市と異なる点は、公募によるモニターのほか、地域課題等に公平・公正な立場で取り組んでいる各種団体の代表者にも議会モニターになってもらっていることです。

【意見・感想】
佐伯市議会では、専門的見識を持った市民の声を聞くため、団体モニターを活用していましたが、本市でも参考にしたいと思えました。

大分市議会では、議会の政策形成機能を充実させるため、議員全員による「議員政策研究会」を設置し、議会基本条例や子ども条例を制定して取り組みました。また、議会改革を推進するとともに、議会運営等が議会基本条例の規定に沿って行われているかを確認するため、「議会活性化推進会議」を設置して取り組みました。



▶ 4月27日 大分市役所にて

議会モニターからの提言

公募した議会モニターの方々は、本年1月1日から1年間、活動をしていただいておりますが、その中で提出されました提言等につきまして、戸田市議会の検討結果をお知らせいたします。

今後も、議会運営等に関して、市民目線での要望、提言その他の意見を広くお聴きし、議会運営に反映していきたいと考えております。

| 提言等の要旨 | 検討結果 |
|---|--|
| 委員会において、聞き取りにくい場面があったことから、委員会室にコードレスマイクを準備し、いつでも使用できる状態にしていきたい。 | 発言は、傍聴者にもわかりやすく聞き取りやすい口調で話そうにいたします。 なお、現在、委員会室へのマイクなどの音響設備の設置は、予算措置の関係から予定しておりません。 |
| 「とだ議会だより」に紙面を確保して、市民に常任委員会の活動を公開するべきである。 | 「とだ議会だより」3月定例会号に、平成 23 年の常任委員会の年間活動成果を、各常任委員会 1 ページずつ掲載いたしました。 |
| 傍聴券に「市民憲章」を記載することにより、傍聴者とともに市民憲章を確認することができ、戸田市民としての再認識が図れる。 | 9月定例会より、本会議の傍聴券の裏に、「市民憲章」を掲載いたします。 |
| 議会モニターあてに、①施政方針、②発言通告一覧を送付してはどうか。 | ①施政方針については、施政方針当日に、議員に配付され、市ホームページに掲載される予定となっておりますので、市ホームページでごらんいただきたいと考えています。 ②発言通告一覧については、すべての発言通告が議会ホームページに掲載された時点で、議会モニターにその旨をメールにてお知らせいたします。 |